



立志式特集

2月1日 17名の2年生は、立志式・記念行事に取り組みました。

【立志式】生徒の司会により式が始まりました。

校長先生は『うさぎとかめ』の話をしました。「うさぎとかめでは能力の差はあるけど、1つの目標に向かって努力すれば必ず2人ともゴールにたどり着き、お互いを称え合える。その後、うさぎやかめは新たな目標を立てて突き進んでゆく。皆さんも立志という節目に新たな目標を立てて、がんばってください。」とエールを贈りました。

次に生徒は「決意の一文字」が書かれた凧を持ち、その文字にちなんだ決意表明をしました。人前で決意を言うことは大変重く、大人でも出来にくいことですが、どの生徒も立派にやり遂げました。



【避難所運営ゲーム (HUG)】倉敷市災害ボランティアコーディネーターの加藤武志先生(沙美郵便局長)から、黒崎中学校が避難場所になったとき、避難してきた方や物資の供給、避難者の要望などをどのように受け止め、運営していくのかをゲーム形式で体験しました。

カードをめくる度に新たな課題を突きつけられ、話し合いの中で解決していきました。

【記念撮影】保護者の方と一緒に、記念の1枚。

【凧あげ】体操服に着替え、浜へ。決意の一文字が冬の北風で舞い上がりました。糸の最後まで出し切って高くあがった凧や隣と糸が絡んじゃった凧、風の読みを間違えて低空飛行の凧。たまたま通りがかった沙美駐在所の方も「いい経験ですね」とほほえましく見ておられました。

【餅つき体験】初めての生徒がほとんどで、杵を手に「ぺったんぺったん」と石臼で餅をつきました。その後、保護者の方と一緒に餅をまるめたり、パックに詰めたり運んだり手伝いをしました。給食時間に食べた餅は格別に美味しかったです。お手伝いいただいた育てる会の皆さま、ありがとうございました。

